



# ともそだちPlus

ともに磨き  
ともに学び  
ともに育つ



## 牛久市の「学び合い」は「つなぐこと」を重視した協働的な学び～「第2回ともそだち塾」開催～

7月30日(月)に「第2回ともそだち塾」を開催しました。今回は、牛久市教育委員会指導課長の豊嶋正臣先生を講師にお招きして、牛久市の授業実践を紹介していただきました。以前から「学びの共同体」の実践を進めている牛久市の取り組みは、神栖市が進める「学び合い」とは違った視点からのアプローチです。では、豊嶋先生の講話の要点を紹介します。

- 牛久市が「協働的な学び」に取り組む理由
  - ・全ての子供の学びを保障する学校でありたい!
- 「学びの共同体」の基本理念
  - ・学びでつながり、安心して自分を表現できる。
  - ・「分からない、教えて」と言える子供を育てる。
  - ・子供の力を借りて、全ての子供の学びに寄り添う。
- 「学び合い」の授業の基本技法
  - ・展開前半は【共有課題】、後半は【ジャンプ課題】
  - ・振り返りは「自分の言葉」で表現させる。
- 「聴く」ことの重視
  - ・能動的な聞き手がいるから説明者が燃える!
  - ・能動的な聞き手がいるから表現力が育つ!
  - ・聴いてもらえる喜びが、聴く子供をつくる!



牛久市の「学び合い」には、【誰のことも見捨てない】という明確な理念が存在しています。印象的だったのは【目の前の一人の子供を救う】という言葉です。そのために、子供どうしの発言をつないでいくことや、それぞれの学びをつないでいくことを重視しているのです。さらに、牛久市の授業実践を指導している「富士学び工房」代表の佐藤雅彰先生は、ひたちのうしく小の研究授業の講師指導の中で【教師と子供の“縦系”と、子供と子供の“横系”のつながりがないと「よい授業」は完成しない!】と述べていました。子供の力は借りるけれど、教師も困っている子供を決して見逃さない…という意識が大切なんだと感じました。研究協議も「教師の支援」が中心ではなく、【子供の姿】を柱にして議論し合っていました。豊嶋先生の講義後の協議では、先生方が熱心に意見交換する姿が印象的でした。

最後に、参加された先生方の感想をご紹介します。5人分のみの掲載であることをご了承ください。

- 「学び合い」をしなくては…と思いながら、実際には子供達に「話すこと」を強要しているだけで本当の「学び合い」ではなかったと考えを改められた。豊嶋先生には、大きなヒントをいただいた。
- 2学期に「ビジョン・願いを共有する」ということを特に重視して取り組みたい。また、授業では「つまずき」を用意して学習課題を考えていきたい。新たなことを学ぶことができたと思う。
- 学びを進めていく中で、「教えて」と言える関係づくりが重要だと改めて感じた。これは生徒指導上でも大切で、このような関係になっていけば、いじめなども起こりにくくなると思った。
- 教師の役割として「つなぐ」ことの大切さを学んだ。「どうして、そう考えたの?」「どうやって考えたの?」「それってどういうこと?」という具体的な言葉を挙げていただいたのが参考になった。
- 「聴く」ことは「相手のことを知りたい」という気持ちであるという言葉が強くに残った。授業がよりよくあるための基盤が学級経営であるという視点を、今後も大切にしていきたい。



茨城町

茨城町保幼小接続実践ポスター

# いきいき茨城っ子の育成



茨城町マスコット  
キャラクターひめ丸くん

## ～平成30年4月制定 茨城町教育大綱概要より～

- <基本テーマ> 郷土を愛し、夢や志の実現に努力する、創造性豊かで社会に貢献できる人づくり
- 基本方針1 明日の茨城町を担う子供たちを育てます
- 基本方針2 楽しく学び続け、つながりのある環境をつくりま

### <小学校 4校>

長岡小学校  
大戸小学校  
青葉小学校  
葵 小学校

### <春、夏の交流>

- 幼稚園訪問「顔合わせ」
- 小学校へようこそ
- 保幼小連絡協議会

## 交流 連携

### <秋、冬の交流>

- 幼稚園訪問「作品展」
- 秋のハッピーランド
- 園児の小学校訪問

### <公立幼稚園 3園>

認定こども園 長岡幼稚園  
認定こども園 沼前幼稚園  
大戸幼稚園

## 交流 連携

### 保幼小の円滑な接続を目指して

- ・子供たちどうし、職員間の活発な交流
- ・茨城町保幼小接続研修会の実施
- ・保幼小連絡協議会の実施(各小学校ごと設置)
- ・接続カリキュラムの活用と見直し
- ・各種行政機関(町役場こども課等)との連携
- ・園内リーダーと保幼小接続コーディネーターの連携
- ・幼児教育アドバイザーの活動

## 交流 連携



ごっこ遊びに小学生も参加



小学校ごとの保幼小連絡協議会



園児と6年生との交流

### <私立幼児教育施設 8園>

認定こども園 飯沼こども園 認定こども園 さくら保育園  
認定こども園 いばらき中央こども園  
認定こども園 いばらき幼稚園 認定こども園 正美幼稚園  
ふじ保育園 ひめま保育園 ウィステリアナーリースクール



園児と児童がお祭りを創り上げる

## 保幼小接続の具体的取組

併設型で日常的に交流!

### 子供たちどうしの交流

幼幼交流もしています!

小学校教員の保育参観

### 職員間の交流

みんな大きく成長しているね!



### 保幼小の相互理解を深める研修会

### 接続カリキュラムの活用と見直し

### 保幼小接続のための研修会

#### <公立幼稚園教員の感想>

- 幼稚園の日々の生活の様子を認めていただけて嬉しかった。幼稚園での学びが小学校でのよりよい学びにつながるよう色々な体験を通して努力していきたい。気軽な連携が大切だとも感じた。

#### <小中学校教員の感想>

- 幼稚園での子供たちの様子、実際の取組、先生方が園児を大切に育てていることなど学ぶことが非常に多かった。遊びを通して学んだことが、小学校教育につながっていることが理解できた。

実用性が高まるよう改善を図る予定です!

アロウサワヤカム	茨城町教育委員会事務局 幼児教育課	茨城町教育委員会事務局 小学校課	茨城町教育委員会事務局 幼稚園課
アロウサワヤカムとは、保幼小接続の推進を目的として、幼稚園と小学校が連携して実施する取組です。	アロウサワヤカムとは、保幼小接続の推進を目的として、幼稚園と小学校が連携して実施する取組です。	アロウサワヤカムとは、保幼小接続の推進を目的として、幼稚園と小学校が連携して実施する取組です。	アロウサワヤカムとは、保幼小接続の推進を目的として、幼稚園と小学校が連携して実施する取組です。
アロウサワヤカムとは、保幼小接続の推進を目的として、幼稚園と小学校が連携して実施する取組です。	アロウサワヤカムとは、保幼小接続の推進を目的として、幼稚園と小学校が連携して実施する取組です。	アロウサワヤカムとは、保幼小接続の推進を目的として、幼稚園と小学校が連携して実施する取組です。	アロウサワヤカムとは、保幼小接続の推進を目的として、幼稚園と小学校が連携して実施する取組です。
アロウサワヤカムとは、保幼小接続の推進を目的として、幼稚園と小学校が連携して実施する取組です。	アロウサワヤカムとは、保幼小接続の推進を目的として、幼稚園と小学校が連携して実施する取組です。	アロウサワヤカムとは、保幼小接続の推進を目的として、幼稚園と小学校が連携して実施する取組です。	アロウサワヤカムとは、保幼小接続の推進を目的として、幼稚園と小学校が連携して実施する取組です。

#### <幼児教育施設教員の感想>

- 小学校が幼稚園に向き合おうとしてくれていると感じた。
- 小学校の先生方に細かい取組等を聞くことができ、保幼小連携の大切さを改めて感じた。

#### <小学校教員の感想>

- 幼児教育で育まれた学びの方向性を、小学校での学びにつなげることの大切さを実感した。
- 交流する機会をさらに増やしていくことが必要だと感じた。

# <お話ししたい内容>

- 1 ○○中の研修課題について
  - 学校のこれまでの捉えは…!?
- 2 今日の授業について
  - 授業参観の視点は“3つ”
  - 提案授業について
  - 参観した授業について
- 3 授業改善の方向性について
  - 「焦点化」を図りませんか？



## 2 今日の授業について

判断の**根拠**や**理由**を明確に示しながら  
自分の考えを述べる生徒の育成  
～**対話力を培う**授業づくり～



今日の参観の視点は…

課題提示の場面で

- ・身に付けさせたい力は何だったのか？
- ・課題はねらいと直結しているか？

学び合いの場面で

- ・根拠を明確にして表現できていたか？
- ・学び合いに全員が参加していたか？

まとめ、ふり返りの場面で

- ・ふり返りの時間は確保されていたか？
- ・新たな見方や考え方は獲得できたか？

### 3 授業改善の方向性について

＜茨城県で重視＞  
「読解力」の育成  
「論理的思考力」の育成

＜学習指導のポイント＞  
問題文の意図を正確に**読み取る**  
複数の資料、言葉と式や図などを**関連付ける**  
**筋道立てて**考察した結果を適切に表現する

# 3 授業改善の方向性について

判断の**根拠**や**理由**を**明確**に示しながら



自分の考えを述べる生徒の育成

～**対話力を培う**授業づくり～



**授業改善のポイントを焦点化!**

**根拠**や**理由**を  
**明確**に示す

**理由**を書く習慣  
「なぜ？」の問い返し

**自分の考え**を  
**述**べる

**説**明的知識を問う  
**表**現への意欲

**対話**力を培う  
**授**業

**聴**き合う関係性  
**新**たな考え方

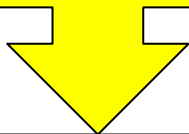
【いつ？】授業中「いつでも」

【誰が？】先生方全員が

【何を？】焦点化されたポイントを

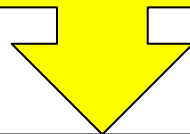
【どのように？】意識して実践する

根拠や理由を  
明確に示す



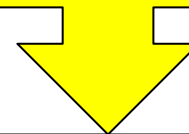
理由を書く習慣  
「なぜ？」の問い返し

自分の考えを  
述べる



説明的知識を問う  
表現への意欲

対話力を培う  
授業



聴き合う関係性  
新たな考え方

# 3 授業改善の方向性について

導入

- ・ 学習問題, 学習課題の設定

展開

- ・ 学び合いの手立て, 学習過程の構想

終末

- ・ まとめの構想, 適応問題の選択

単元の学習を通して

生徒が**資質・能力**を身に付ける



# 3 授業改善の方向性について

生徒に身に付けさせたい力を明確にする

本時の学習を通して

終末

- ・ 言わせたい、書かせたい言葉は何か？

展開

- ・ 全員が参加できる「学び合い」の構想

導入

- ・ 生徒の思考を促す学習課題の設定

### 3 授業改善の方向性について

#### 必要かつ的確な実態調査の必要性

- 生徒に身に付けさせたい力を明確にする
  - 授業構想における「はじめの一步」
- 身に付けさせたい力に関する再確認
  - どの程度まで育っているか？
  - どれだけの生徒に育っているか(いないか)？
- 身に付けさせたい力に関する実態調査の実施
  - 意識調査に偏らないことが大切
  - 意識調査は「自己評価」だから曖昧さが残る